

平成21年11月4日

各位

上場会社名 応用地質株式会社
 代表者 代表取締役社長 成田 賢
 (コード番号 9755)
 問合せ先責任者 常務執行役員 経営企画本部長 佐々木 和彦
 (TEL 03-3234-0811)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,000	△200	△40	△180	△6.55
今回発表予想(B)	35,300	△560	△360	△1,900	△68.82
増減額(B-A)	△700	△360	△320	△1,720	
増減率(%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	46,652	2,023	2,824	1,014	36.14

修正の理由

昨年後半から低迷している世界経済ならびにわが国経済は、一部景気回復の兆候は見えるものの、未だ不透明な状況が続いています。

現下の景気については、後退速度が緩やかになりつつありますが、当社グループに関連する民間企業の設備投資や新規開発は依然として低調に推移しています。公共事業については、政権交代に伴う補正予算の一部執行停止など、事業量縮減に向けた動きが明確となり、当社グループの国内事業に影響が表れています。更に、海外を中心とした探鉱・資源開発市場、地震計市場を中心とする計測機器事業については、石油を含む資源価格の上昇とともに回復基調にありますが、今期業績への寄与は限られたものとなる見込みです。

このような社会環境の中で、平成21年12月期通期の業績は、応用地質単体を中心とした国内事業における受注活動と収益性改善の効果が表れず、前回発表予想より減収減益となる見込みです。

なお、当期純利益につきましては、上記理由に加え、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上などにより前回予想を大きく下回ることとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上